

あとがき

本書「多摩田園都市——開発35年の記録」の編纂が決まったのは昭和57年6月であった。区画整理事業が終盤を迎えており、開発30周年を目前にしたこの時期を除いては、多摩田園都市の開発の記録をまとめる好機はない、との判断によるものであった。

直ちに開発事業本部管理部内に専任スタッフ2名による編纂チームが発足し、その業務が始まった。編纂チームの主な役割は社内外の資料収集で、執筆そのものは外部に委嘱することとされた。資料の収集と執筆期間を勘案し、59年3月の発刊を予定した。

編纂方針は、①多摩田園都市の開発経緯を正確に記述する、②開発は関係行政庁の指導のもと地元と当社が一体となって行ったものであり、関係者の努力と苦心の跡を明らかにする。つまり、「正史」として関係資料の体系的な整理を行い、併せて数々のエピソードも折り込むことにした。

資料の収集は、土地区画整理関係を中心に土地買収、鉄道およびビル建設等の資料を関係部署から提出してもらい、特に膨大な量にのぼった区画整理組合関係の書類は用地課市ヶ尾分室の一室に収容した。集めた資料は、行政関係資料、各種会議の議案書・稟議書、社内報等であり、さらに社外資料としては、開発関連図書および新聞等が主なものであった。

また、これらの資料収集と並行して地元区画整理関係者、開発にたずさわった上司、諸先輩・OBからの取材を進め、その内容を補助資料として取りまとめた。取材によって、これらの方々の苦労を肌で感じるとともに、本書編纂の責任の重大さを痛感した。

執筆に先立つ構成案の作成では執筆者とのたび重なる協議の末、会社の沿革、多摩田園都市の開発過程、明日の多摩田園都市を考える、の三つを主題として本文は序章プラス8章で構成し、全体の頁数を400頁前後に収めることにした。

執筆は、各章別に資料の整理を終えた58年3月、ライター2名によって始まり、同年秋第1稿が脱稿した。しかしこのあと2回にわたって改稿したが、なおも大幅な修正・加筆を必要とした。

このため専任スタッフの手で粗原稿を執筆し、これを社外の執筆者

がりライトすることにより、不足資料の収集と2回目の執筆が行われた。

ところが、こうしてできあがった原稿も、資料の多寡に左右されて、記述に粗密がありすぎ文章構成上の流れにも難があった。さらに、2000枚(400字詰原稿用紙)を超える分量も問題となり専任スタッフの手により大幅な再度の調整が行われた。

本文は以上のような紆余曲折を経ながら、結局とりまとめに6年の歳月がかかった。社史づくりがいかに難しいかを実感した次第である。

口絵はダイヤモンド社の協力を得て作成した。とりわけデザイナーの村田一男氏に熱心に取り組んでいただいたことを感謝する。撮影は本文の執筆に入った58年4月に開始し約9か月にわたってこれを行ったが、本文のとりまとめが遅れたため、一部再撮影を行い、特に空撮については最新のものを使用した。

資料編は早くから手がけてきたが、本文その他の関係から数度にわたる再構成を行った。

年表は本文記述以外の関連事項をもできるだけ記載し、資料としても充分役立つよう心がけたつもりである。

なお、本文中の図画は、(株)地計社の協力を得て作成し、竣工した区画整理地区の平面図は全地区掲載した。

本書の編纂を終えるに当たって、発刊が遅れたことをお詫びするとともに、資料の収集にご協力頂いた社内外の多くのみなさま、取材に心よく応じてくださった地元の方々やOBのみなさま、ならびに制作にあたったダイヤモンド社のスタッフに心から感謝を申し上げます。特に社内執筆中、社史コンサルタント本多清氏より、終始励ましと貴重なアドバイスをいただいたことを付記しておきたい。

(加藤英雄記)

昭和63年10月15日

編纂チーム

加 藤 英 雄

遠 藤 秀 夫

山 口 哲 生

(59年4月～60年6月)

参考文献(五十音順)

一里塚(近藤謙三郎)
大山街道(川崎市立多摩図書館)
想うまに(三沢重元)
小川郷土誌(小川郷土誌編集委員会)
小田急五十年史(小田急電鉄)
大山街道今昔(金子勤)
顔に歴史あり(東急沿線新聞社)
川崎市水道史(川崎市水道局)
川崎市水道六十五年史(川崎市水道局)
川崎市史(川崎市)
神奈川県史(神奈川県)
喜寿を迎えて(内野慶太郎)
近代日本年表(朝日新聞社)
建設小六法(学陽書房編集部)
建設省関東地方建設局三十年史(建設省関東地方建設局)
建設白書(建設省)
現代都市計画用語録(彰国社)
港北区勢概要(横浜市港北区役所)
ザ・ショッピングセンター玉川高島屋SCの20年(倉橋良雄)
首都圏整備法の解説(木崎茂男)
新玉川線建設史(東京急行電鉄)
新土地税制のすべて(大蔵省財務協会)
商調協の手引(日本商工会議所)
住宅産業界(鈴木一)
市政概要(横浜市)
新・大規模小売店舗法の解説(通商産業調査会)
新住民の自治意識(横浜市企画調整室)
田奈郷土誌(田奈郷土誌編集委員会)
続・田奈郷土誌(田奈郷土誌編集委員会)
たまプラーザ新聞縮刷版(たまジャーナル社)
大都市圏の整備(首都圏整備協会)
調査季報(横浜市)
都筑が丘(松沢由貞)
鶴間の開発(南町田第一土地区画整理組合記念誌編集委員会)
鶴間郷土史(井上茂留)
田園の憂鬱(佐藤春夫)
東京横濱電鐵沿革史(東京急行電鉄)
東京急行電鉄50年史(東京急行電鉄)
土地区画整理事業土地利用
実態調査報告書(横浜市都市整備局事業指導課)
都市ヨコハマをつくる(田村明)

土地区画整理法令集(日本土地区画整理協会)
土地区画整理法の研究(岩見良太郎)
土地区画整理組合誌(全国土地区画整理組合連合会)
東急建設の二十五年(東急建設)
東急沿線新聞縮刷版(東急沿線新聞社)
東京電力三十年史(東京電力)
東京ガス九十年史(東京ガス)
東名高速道路建設誌(日本道路公団)
都市開発協会十年史(都市開発協会)
道路用語辞典(日本道路協会)
中里郷土史(中里農業協同組合)
七十年の人生(五島慶太)
日本住宅公団史(日本住宅公団)
日曜日の日本経済読本(日本経済新聞社)
日本の大規模小売業(早稲田大学出版部)
農地改革法令集(農林省農地局)
農地法解説(石川国作)
飛行機とバスの窓から(久留島秀三郎)
不動産業界沿革史(東京都宅地建物取引業協会)
街づくり五十年(東急不動産)
町田市政のあらまし(町田市)
緑区10年の記録(みどり新聞社)
明日の田園都市(鹿島研究所出版会)
道十年(建設省関東地方建設局川崎国道工事事務所)
緑警察署のあゆみ(神奈川県緑警察署長 阿部博)
元石川第二土地区画整理事業(元石川第二
土地区画整理組合・東京急行電鉄)
山内小学校百年の歩み誌(山内小学校百年の歩み誌発行委員会)
やまと(大和市役所)
横浜の町名(横浜市市民局)
横浜水道百年の歩み(横浜市水道局)
横浜国道二十年史(建設省関東地方建設局横浜国道工事事務所)
わが国(波沢秀雄)

資料・写真提供、取材および撮影について、ご協力頂
いた方々 (敬称略、五十音順、当社関係および現社員は除く)

《法人》

運輸省大臣官房文書課

驚神社

王禅寺

川崎市都市整備局開発部区画整理課

川崎市建築局住宅部指導課

川崎市水道局給水部企画課

川崎市水道局給水部驚沼配水所

川崎市宮前区役所

川崎市立高津図書館

川崎市立中原図書館

神奈川県都市部都市整備課

神奈川県立図書館・文化資料館

神奈川県立川崎図書館

カリタス女子短期大学

五島美術館

クリスチャンデオール(たまプラーザ東急SC内)

建設省関東地方建設局川崎国道工事事務所

嶮山開発(株)

Coggey

住宅新報社

住宅・都市整備公団関東支社

たまジャーナル社

たまプラーザ住宅展示場(三井ホーム)

大洋航空(株)

チャイニーズレストラン「シェシェ」

東急沿線新聞社

東京ガス渋谷営業所

東京工業大学

東京電力神奈川支社

東京都都民情報センター

都市開発協会資料室

同和鉱業(株)

日本上下水道設計株式会社水道部

日本土木学会

日本体育大学

八州測量(株)

みどり新聞社

株粕栄舎

横浜市都市計画局開発部区画整理課

横浜市建築局建築指導部企画指導課

横浜水道100周年記念事業実行委員会事務局

横浜市教育委員会施設部施設課

横浜市緑区役所北部支所

横浜市立山内図書館

横浜市立田奈小学校

《個人》

石川国作	嶋崎迪夫	源章
池野功	杉村吾郎	松村奈保美
江川文吾	田島復	本間利夫
大曾根拓郎	高橋孝守	村田一郎
梶浦重雄	田村和紀	持田太郎
片岡大三郎	武田信夫	森貞治
河井久弥	椿末吉	森川忠信
金子太一	土志田巖	山本忍
門谷健二	戸塚玄三	山森作治郎
古宇田誠	成田嘉正	山際文行
国分昇	中楯芳平	山本かよ子
斎藤文男	原玉雄	山本真理子

《編集・制作協力》

原稿リライト	本多清・江波 洸
口絵・資料編デザイン	村田 一 男
口絵撮影	深瀬 昌 久・村田 一 男
編集	本多清・高橋 正 嗣
地図制作	地 計 社

多摩田園都市——開発35年の記録

昭和63年10月31日発行

- 〔発行〕 東京急行電鉄株式会社
東京都渋谷区桜丘町26番20号
- 〔編集〕 東京急行電鉄株式会社田園都市事業部
- 〔制作〕 株式会社ダイヤモンド社
東京都千代田区霞が関1丁目4番2号
- 〔印刷〕 大日本印刷株式会社商印事業部
東京都新宿区榎町7番地

